



○自ら学ぶ子	○思いやりのある子	○じょうぶな子	
児童数	1年 7名	2年 6名	3年 13名
	4年 4名	5年 6名	
	6年 14名(まつのき1名)		

令和6年のはじまり

校長 武内 知江美

令和6年が始まりました。はじめに、1日の令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々へ謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

一日ごとに新しい情報が入る度に「今、この時」を普段通り生活ができていることに感謝するとともに、「いつもはいつもじゃない。奇跡である。」ということを感じずにはいられませんでした。報道を見る度に、地域の方々との協力と人のために動くことの大切さを改めて考え、本校の「人のために動ける」教育活動を今後も推進していく思いを強く持ちました。

大越の地域の皆様、保護者の皆様には日頃より、本校の教育活動に関しまして皆様の御理解と御協力を賜り深く感謝申し上げます。本年も引き続きの御支援の程よろしくお願いいたします。さて、2024年は「辰」年、どんな年になるのかを、ネットで検索してみると「新たなスタートであり予想外の変化が起こる」とありました。「辰」の文字の由来は「震」だそうです。これは『生き物がダイナミックに成長して変貌を解ける様子を天を駆ける辰になぞらえたと言われ、今までの流れに囚われない、良くも悪くも予想外の変化が起こる一年になることが予想される』とありました。つづいて、そんな2024年を幸運な年にするための心がけとして『過去を振り返らない』とありました。『未来に目を向け、ちょっとした目標を立てて、その実現のために何かを始めることが2024年のラッキーアクション』になるそうですので「迷ったらGO!」もありかもしれません。

また、今年2024年は「パリオリンピック・パラリンピック」が7月26日～8月11日、8月28日～9月8日までの期間で開催されます。多くの選手たちの活躍が見られることでしょう。応援していきましょう。

第3学期始業式

9日(火)に第3学期の始業式が行われました。子供たちは充実した冬休みを過ごしていた様子で、校門でのあいさつを元気にしていました。始業式では、能登半島地震と航空機の事故について少し触れ「協力し合うこと」「人のために動く」ために、今自分のできることは何なのかをもう一度考えていくことを話しました。また、航空界には「90秒ルール」と呼ばれる世界規準があり、一人の犠牲者も出さなかったのは、そのルールに基づき日頃の練習、準備、冷静な状況判断があったからということも話しました。いつ、どんな時でもどんな行動を取ったら良いかを常にシミュレーションをするなど、準備をしておくことで冷静な判断と行動ができるのですね。

箱根駅伝

2024年の東京箱根間往復大学駅伝競走は、100回目の記念大会として、大会参加資格を「関東学連登録者」から「日本学連登録者」に拡大されました。その予選会が2023年10月14日に行われ、史上最多の57校が予選会に出場しました。その結果、すでにシード権を持つ10校を含む23校が本大会に出場しました。

今回の箱根駅伝のレースは「駒沢一強」と言われ、駒沢大学は「2年連続学生駅伝三冠」に王手をかけて臨んでいました。1区篠原倅太郎選手、2区キャプテン鈴木芽吹選手は期待通りの走りをし、「このまま駒沢大学が優勝し、2年連続の三冠を手にするのか」と思われました。しかし「駅伝はやってみなければわからない」と、瀬古俊彦氏が駅伝100年を振り返る番組でコメントをしていましたが、その通り、「負けてたまるか大作戦」で臨んだ青山学院大学の好走により2区で襷を渡した時点で59秒あったタイム差を、3区の襷リレーまでに22秒までに迫り、3区で首位交代という劇的な展開となりました。テレビ中継の解説を務めた瀬古利彦氏は「こんなことになるとは、予想していなかった」というコメントをしていました。「やってみなければ分からない」ですね。

その立役者となった選手は、2区の黒田朝日選手(2年生)で、彼のお父様も法政大学の選手として、箱根駅伝1区を3位と好走し、駿河台大学の徳本一善監督と「オレンジエクスプレス」を編制した名選手です。そしてもう一人、「駅伝男」と称される、3区の太田蒼生選手です。駒沢大学で同区を走るのは、「10000mのU20日本記録」を30秒近く更新した「最速ランナー」の佐藤圭汰選手です。先に襷を受け取った佐藤選手の力強く余裕の走りに前半で追いつき、前に出るタイミングを伺っていました。見ている側は見応えのある攻防でしたが、実際に走っている選手は大変だろうと思っていますと、レース後のインタビューで太田選手は「あの競り合いが一番楽しかった」と答えています。また、トップになったときに見える「先頭からの景色が見たかった」とも答えています。順位を意識して走ることで結果的に3区区間賞、日本人初の1時間を切る59分47秒の記録を作りました。彼は、昨年度も4区で同様のデットヒートを繰り広げていました。とても楽しそうに走っています。まさに「駅伝男」といわれる所以とって良いのではないのでしょうか。そして「楽しく」「自分を信じて」「最後まであきらめず」「やりきる」という事でしょうか。黒田選手も太田選手も走り終えたあとの表情がとても爽やかで、やり遂げた満足感にあふれていましたね。2人のやるべき事に取り組む姿勢は見習わなければいけないと改めて考えました。

次の駅伝が今から楽しみです。少し気が早いでしょうか。



1月の行事予定

1	月	元日 冬季休業日
2	火	休日 冬季休業日
3	水	休日 冬季休業日
4	木	冬季休業日
5	金	冬季休業日
6	土	冬季休業日
7	日	冬季休業日
8	月	成人の日
9	火	第3学期始業式 職員会議
10	水	給食開始 登校指導⑩ 安全点検日
11	木	委員会活動⑨ 発育測定 加須北中学校職場体験
12	金	書きぞめ競書会 加須北中学校職場体験
13	土	
14	日	
15	月	5年「保健」学習出前授業 定時退勤推奨ウィーク(~1/21)
16	火	
17	水	総合学力調査(1年~6年) 校内書きぞめ展覧会
18	木	クラブ⑪ 代表委員会⑨ 校内書きぞめ展覧会14:20~16:00
19	金	校内書きぞめ展覧会14:20~16:00 ふれあいデー
20	土	市内書きぞめ展覧会(水深小) 埼玉県児童生徒美術展覧会北埼玉地区展(行田市総合体育館グリーンアリーナ)
21	日	埼玉県児童生徒美術展覧会北埼玉地区展(行田市総合体育館グリーンアリーナ)
22	月	不審者対応避難訓練・防犯教室
23	火	
24	水	4・5年「総合」出前授業
25	木	クラブ⑫ 縦割り遊び⑨
26	金	加須北中学校入学説明 麦踏み⑬3.4年(予定)
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	加須市チャレンジテスト(3年~6年)
31	水	



今月の生活目標



「明るいあいさつをします」

- ・元気にあいさつをします。
- ・相手の顔を見て心をこめてあいさつをします。

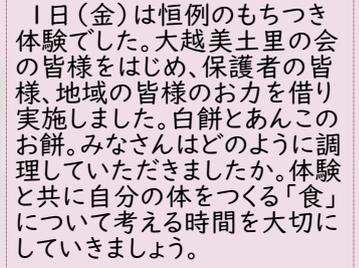
○あいさつの元となった一挨拶(いちあい いちさつ)という言葉には、自ら心を開いて接するという意味が込められているそうです。何の変哲もないいつものやりとりかも知れませんが、元気に心をこめてあいさつすれば、相手もうれしいものですし、自分自身も気持ち良くなります。子供たちにも、この機会にぜひ「あいさつ」を見直してほしいと思います。

12月の大越っ子

11月27日(月)は3、4年生の小麦まきが行われました。大越美土里の会の方の説明のあと、子供たちが小麦の種をまき、道具を使って土をかけていきました。このあと霜の降りる季節を迎えますが、しっかり麦が育つよう1月は麦踏みも予定しています。これからが楽しみです。



1日(金)は恒例のもちつき体験でした。大越美土里の会の皆様をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様のお力を借り実施しました。白餅とあんこのお餅。みなさんはどのように調理していただきましたか。体験と共に自分の体をつくる「食」について考える時間を大切にしていきたいと思います。



11日(月)は、サンタクロース姿のお二人の郵便局長様が来校され、2年生に手紙の書き方出前授業を行っていただきました。宛先や差出人の名前を書く場所など、年賀状を使って丁寧に説明してくださいました。子供たちも一生懸命に取り組みました。



21日(木)は学校応援団顧問で衆議院議員の野中厚様との座談会でした。子供たちから出る個人的な質問や政治に関わる質問に、とても丁寧にお答えくださり、あっという間の45分間でした。今年度は一緒に給食も食べ、たいへん充実した時間となりました。

14日(木)は、大越幼稚園の年長児と本校の1年生が交流給食を行いました。1年生はお兄さんお姉さんの態度で率先して給食準備を行えました。最初はお互いに緊張していましたが、笑顔で食事を楽しむことができました。



2月の主な行事予定

1	木	スクールカウンセラー来校AM
2	金	新入児童保護者説明会
5	月	薬物乱用防止教室5・6年
9	金	学校関係者評価委員会/第3回学校・幼稚園評議員会
16	水	加須北中学校区家庭学習強化期間(~21日)
23	木	天皇誕生日
28	水	学習参観・懇談会
29	木	ジャガイモ植え 幼・1・2年(予定)



>行事予定は今後、変更することもございます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

お知らせとお願い

○最新の活動の様子は学校のホームページから ぜひご覧ください。(こちらからどうぞ ⇒⇒⇒)

